園だより

令和４年７月１日

社会福祉法人新田保育園
園長　大西　陽子

『みえない記憶』

今年度のぞう組、りす組合宿は、日程通り実施することができました。保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただき、心より感謝いたします。ありがとうございました。

さて、みなさんは、子どもの頃の記憶をどのくらい覚えていますか？所説ありますが、記憶が残るのは、大体 3～4 歳からだと言われています。ではどうして私たちは赤ちゃんのころのことを覚えていないのでしょうか。大きく分けて２つの考えがあります。１つは，乳幼児期の学習は未熟で、記憶をうまく固着できないとする考えです。もう１つは、記憶の貯蔵に必要とされた神経ネットワークが後に発達したものに飲み込まれて、当時の記憶を思い出せないとする考えです。この考え方でいくと、保育園での記憶はほとんど残らないということになります。

先日、評議委員さんの畑に、5 歳児とじゃがいも堀りに行きました。畑の説明を聞いている時に、1 人の子が枝豆の苗を抜いてしまいました。畑は多数の人が共有で使用していて、その苗は評議員さんの苗ではありませんでした。抜いてしまった理由としては、葉っぱだと思っていたとのことでした。後日、苗の持ち主に謝罪すると、「かえって良い経験をしましたね。枝豆は気にしないでください」と言っていただきました。また畑の隣に住んでいる方は、畑でワイワイと子どもたちが収穫しているのを、「大勢来て、楽しそうね」と笑顔で見守ってくれていたそうです。

畑での出来事も、乳児クラスで大笑いしている毎日も、その子に合わせて作っている離乳食も、りす組合宿で子どもたちが出会う絵本の主人公だるまちゃんをつくって、会う場所まで見つからないように運び、遊歩道を通る地域の方に、「今日、新田保育園で…」と説明していることも、保育園生活は、子どもたちの記憶には残ならいことであふれています。でも、幼少期の記憶がほとんどない私でも、大人になりわかったことがあります。きっとこんな風に、子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら、成長に関われることを喜びに感じる大人たちがたくさんいたということを。新田保育園の職員も、子どもたちに関われることを誇りに持ち、もっともっと自分にできることを探し続ける集団でありたいと思います。りす合宿を終えた子どもたち、保護者の方々の表情と、合宿中の子どもたちの姿を、楽しそうに話す職員を見て、強く感じました。　（文責　濱本昌子）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
7月	給食懇談会			頭ジラミチェック	健康体育（３・４・５歳児）		誕生会・写真の日・避難訓練					プール開き	健診（０・２歳児）			前期保育総括会議															